

日本保育園保健協議会
第4回 全国研修会

新しい保育所保育指針における専門性の連携

テキスト

生涯研修システム



日本保育園保健協議会

2009年2月1日(日)

兵庫県医師会館

(第3ブロック 兵庫)

会頭：藤田 位

第4回全国研修会 会頭挨拶

日本保育園保健協議会 第3ブロック幹事

藤田小児科医院

藤田 位

山紫水明の町神戸によろこおいで下さいました。震災からはや14年、神戸空港も開港し、見事に神戸は復活しました。

昨年の横浜では、発達障害と虐待問題が取り上げられ、それらの処遇対応困難事例の検討を中心に研修会が開かれました。今年のテーマをスタッフと検討した結果、平成21年度より施行される新保育所保育指針を取り上げようという意見が多く出てまいり、その中でも特に第5章の「健康と安全」に的を絞ったかどうかということになりました。保育の専門家である保育士と医療の専門家である看護師・医師がそれぞれ互いにどのように関われば良いのか、そして連携をとればよいのかを皆で検討しようということです。

研修会の目的は二つあります。一つは研修会で提起された問題を通して自園での問題を整理してもらうことで、午前中のシンポジウムはその目的で計画しました。大いに頭を絞ってみてください。

目的の二つ目は新しい知識を得て明日からの保育活動に役立たせることで、午後の講演はこの目的のために計画しました。保育士自身の心の問題や乳幼児の問題行動について専門医からやさしく解説していただく予定です。そして最後に皆さんが一番大きな関心を持ちかつ本日のテーマに沿った問題「登園基準と与薬」についても考えていただければと思っています。

神戸に来てよかった、また来年も全国集会に参加しようと思っていただけるよう計画してまいりました。1日勉強を楽しんでいただければと準備委員一同願っております。

— 目 次 —

10:00	開会式 総合司会：小山通子（神戸市・保育士） 開会の挨拶：藤田 位 会頭、伊藤謙吾 副会長、帆足英一 学術部長 来賓挨拶：谷澤義弘（兵庫県医師会 副会長）	
	シンポジウム「保育園と医療者との連携」 新しい保育所保育指針から 座長：藤田 位（西脇市・小児科医） 奈良平典子（大阪府・キリスト教社会福祉専門学校）	
10:15	1) 子どもの「健康及び安全」……………6 厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課保育指導専門官 天野珠路	
10:45	2) 保育士から見た保育園と医療者の連携……………13 おもと保育園 園長 前田幸男	
11:05	3) 看護師の役割と保育園との連携……………16 芦屋市立精道保育所 看護職 角谷弘子	
11:25	4) 医師の役割と保育園との連携……………20 先端医療センター 病院長 西尾利一	
11:45	総合討論……………29 (指定発言) 姫路市医師会 松浦伸郎	
12:15	昼食 休憩	
	総合司会 奈良平典子	
13:00	講演1：保育園とメンタルヘルス……………34 座長：藤田 位 講師：独立行政法人国立病院機構榊原病院 長尾圭造	
13:50	講演2：乳幼児の問題行動への理解と対応……………39 座長：小野寺芳子（吹田市・児童課子育て支援室 保育科） 講師：ほあし子どものこころクリニック院長 帆足英一	
14:40	講演3：感染症の登園基準と与薬……………54 座長：松浦伸郎 講師：大阪府医師会 学校医部会 中谷正晴	
15:30	閉会式 次期会頭挨拶 閉会の言葉：松浦伸郎	